

# 観光地へのアクセス道路の整備や渋滞対策の推進

観光誘客の促進や地域の活性化を図るため、観光地へのアクセスや周遊を支える道路、日常生活に欠かせない身近な道路における渋滞対策など、**快適で円滑な移動を支える道づくり**に取り組んでいます。

## ○ 観光地へのアクセス道路の整備や渋滞対策の推進



アクセス道路の整備(国道400号/那須塩原市)



アクセス道路の整備(国道120号/日光市)



LED表示板による迂回誘導



臨時駐車場の利用状況

渋滞対策の例(国道119号外/日光市)



渋滞状況(県道那須高原線/那須町)

## ○ 宇都宮市東部地域における渋滞対策



宇都宮市陽東4丁目

渋滞の状況(県CCTVカメラより)



LED表示板による迂回誘導表示の状況(目的地までのリアルタイムな所要時間の表示)



# 主要渋滞箇所における渋滞対策の推進

県が管理する道路で、早期の対策が必要な主要渋滞箇所(優先対策箇所)が

# 41箇所

あります。(平成24年度特定)

● 主要渋滞箇所は、以下の指標に該当する箇所の中から、道路利用者の声をもとに、全体で321箇所、その中で優先度の高い81箇所を優先対策箇所として平成24年度に特定しました。

【指標】 平均旅行速度20km/h以下(信号2回待ち以上の渋滞が発生)

● 特定された箇所について、各道路管理者が順次対策を進めています。

道路の拡幅による対策  
(主) 宇都宮今市線  
宇都宮市一の沢  
(都) 大通り

4車線化及び交差点改良により渋滞が大幅に緩和されました。



対策前



対策後

車線構成の見直しによる対策  
(主) 宇都宮亀和田栃木線  
宇都宮市細谷  
(宇都宮環状道路)

宇都宮環状道路の細谷交差点付近では、部分的に6車線化することで混雑が改善されました。



対策前



対策後

バイパスの整備による対策  
(主) 宇都宮鹿沼線  
鹿沼市千渡東  
(都) 古峯原宮通り

慢性的な渋滞が発生していましたが、バイパス整備により交通の円滑化や自転車・歩行者の安全の確保が図られました。



対策前



対策後